

眼科からはじまる社会参加への道しるべ 英国の取り組みから考えるフォーラム

英国では医療機関を拠点に患者とその家族らに対して、早期から気持ちに寄り添った支援やすぐに活用できる支援を行うとともに、福祉・教育・就労等の社会資源へ橋渡しを担う専門家であるECLO (Eye Clinic Liaison Officer)のシステムが確立されている。また、ECLOの養成や活動に際し、視覚障害当事者団体である英国王立盲人協会(RNIB)が大きな役割を果たしている。

その取り組みを学ぶため日本視覚障害者団体連合では、令和4年から調査を進めている。今年8月には、専門家とともに現地調査を行った。

このフォーラムでは、英国での現地調査を報告するとともに英国の取り組みを参考にしながら、日本における医療から患者を社会参加へつなげるシステムを考える。

1. 基調報告(現地調査から見た英国の取り組み)

吉泉豊晴(日本視覚障害者団体連合 情報部長)

平塚義宗(順天堂大学医学部眼科学教室 先任准教授 眼科医)

宮内久絵(筑波大学人間系障害科学域 准教授)

2. ディスカッション

「患者を医療から社会参加へつなげるシステムを英国の取り組みから考える」

ファシリテーター:中野泰志(慶應義塾大学経済学部 教授)

コメンテーター:竹下義樹(日本視覚障害者団体連合 会長)

※報告者3名も登壇

YouTubeでもライブ配信

<https://youtube.com/live/ugDKxIBCFFs>



日時 2023年12月9日(土) 13時00分～15時30分

会場 日本視覚障害者センター(東京都新宿区西早稲田2-18-2)

会場定員:40名(要予約、先着順)

会場参加をご希望の場合は、電話もしくはメールで必要事項(氏名・フリガナ・連絡先・付添者の有無)をお知らせください。YouTubeでの視聴は予約不要。イベント詳細は、日視連ホームページ(<http://nichimou.org/>)をご参照ください。

【お問い合わせ】

日本視覚障害者団体連合(日視連) 情報部

電話:03-3200-0011(ガイダンス:4)

メール:jouhou@jfb.jp